

南魚沼市に暮らすしあわせ

移住・定住促進に関する情報や、実際の移住者の声をお届けします

【問合せ】 地方創生推進室 ☎773-6659

南魚沼市の魅力にひかれて、実際に移り住まれた人の声を紹介합니다。

移住したみなさんの声 (第4回)

やすのぶ ちいこ
渡辺保宣さん・千衣子さん〔雲洞〕

今回お話を伺ったのは、東京都から雲洞区に移住し、茅葺屋根の古民家を改築して住む渡辺さんご夫婦です。

いつかは土をいじり親しむ生活をしたという思いを描き、10年位前から適地を探していたところ、現在の物件を見つけ、昨年の11月から南魚沼市でセカンドライフをスタートさせました。

Q 南魚沼市に縁故などがあったのですか？

A 六日町地域や塩沢地域には知り合いとか縁故は全くありませんが、浦佐地区には大学時代の友人の実家があって、そこに毎年のようにスキーや山菜取りに来ていましたので、多少の地理感はありました。

Q なぜ南魚沼市を移住先として選んだのですか？

A 移住先を南魚沼市などの新潟県内に限って探していたわけではありません。元々は「土に触れる生活をしたい」という思いが一番でしたので、長野や山梨の物件も含めインターネットで情報を探し、現地まで見に行っていました。当地が有数の豪雪地であることはもちろん知っていましたが、こういう物件が欲しいなと思っていたところに、たまたまこの地で今の建物を見つけました。衝動的というかタイミングでしたね。

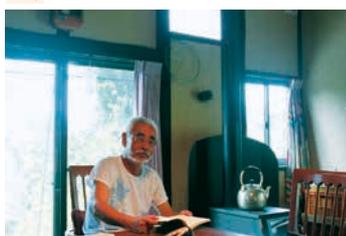
Q 実際に南魚沼市で暮らしてみて、どんな魅力を感じましたか？

A 家と家との距離、いわゆる隣近所と適度に離れた空間がちょうどよいですね。遠すぎもせず、近すぎもしない。同じように人と人とのつながりの距離感もちょうどよく、よい人ばかりだと思っています。私たちのような年齢の者でも移り住んでくれることはうれしいと、歓迎会もしていただきました。そのようにいろいろとよくしてもらっていますし、「よい所に來たなあ」と感じています。

Q 雪に関してはどうですか？

A 昨冬は非常に雪が少なかったということで助かりましたが、尋常な積雪ではないので雪のイメージは大きいですね。でも感心するのは、多くの道路には消雪パイプが入っていて、そうでない道路も除雪が行き届いている。降り続く時はやむを得ないとして、やんで何時間か経てばほとんど道路の雪はなくなるという状況です。当地を訪れたことのない人にとってはちょっと想像できないかもしれませんが、すごいことだと思います。雪は降るけれども、こんな状況だということを積極的に宣伝するとよいと思います。

Q これから南魚沼市で暮らそうと考えている人に、アドバイスをください。



A 地域や近所の人たちとどれだけ上手に付き合っていくかということだと思います。私事ですが、集落の夏祭りで司会を頼まれ引受けました。村に早くなじむためにはいろいろなことを積極的にやった方がよいと思います。移住をしてくるならそういう感覚を持たなければ、ただ田舎が好きだからということだけで移り住んだとしても、うまくいかないのではないかと思います。

U・Iターン促進住宅支援補助
随時受付中です。ご利用ください。
(予算に達し次第締め切ります)

新潟県内にU・Iターンにより就職した40歳未満の人が、南魚沼市内に賃貸住宅を契約し居住する場合の家賃と初期費用の一部を補助します。
(担当窓口：地方創生推進室 地方創生係)

